

かがやき

令和5年 10月12日(木)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 8

「ようこそ先輩」あの日があるから「今」がある。

先日、中学校から「職場体験」の授業の一環としてかがやきの卒業生が来てくれました。中学2年となったA君B君C君。背が伸び、「失礼します!」「よろしくお願ひします!」と青年らしい所作の一つ一つに大きな成長を感じつつの再開となりました。三日間という短い時間の中で隙間時間に支援教室での小集団指導の補助にも入ってもらいました。低学年から高学年まで自己紹介をし、「一言スピーチ」や「みんなでやってみよう・ミニゲーム」等の演習に入りました。中学生からは「小さい子の相手も結構大変ですね」「僕たちもこんなだったですか?」「めっちゃ疲れる!」等々の感想がありました。自分たちが在籍中には見えなかったことが中学生となり客観的な視野の成長とともに見て、感じるできるようになっている発言にも大きな変化と成長を感じました。個別の振り返り指導の中では自分の経験や体験を話してくれる場面もありました。整理整頓が苦手。授業内のタイミングでテストに取り組むことが難しい。教室で座っているのが辛い。とにかく学校に来ることが疲れる。等々。今、「かがやき」にきている子達の色々な課題に対して「そうなんだよな!大変だと思うよ。そんなときはそうにしか思えないよな。」「ほんと、勉強きついよね」「でもね、やっておいたほうがいいよお~」「中学校はマジ大変だからなあ。」先輩たちの言葉に「そうなの?」とまだまだ数年先の想像もつかない未来に半信半疑の子も…。ただ、彼らの言葉に強い説得力があるのはやはり彼らもそうした場面をしっかりと体験してきた当事者であるからだと一緒に聞いていて強く感じました。当時の日々を振り返りながら言葉の端々にあれも大変だった。これも大変だった。本当にいろいろやらかした。詳細なことまで本当によく覚えていて「そうだった。そうだった。」とうなずき合いました。そして、最終日にこうした機会もあまりないので、在籍時によく行っていた振り返りワークシート(中学校バージョン)に取り組んでももらいました。いくつかの質問をしましたが、一番の成長を感じたお題への回答は以下の通りでした。

Q「小学校のときからくらべて成長できたなあと感じることはありますか?」

ワークシートの選択肢に○をしてもらった形でしたが、A君B君は「授業」と「部活」。C君は「友達関係」と「授業」としっかり回答してくれました。日々の混乱、停滞、迷走、イライラ、いろんなものが同居して渦巻いていたあの時、自分への「自信」や「肯定感」をもつことが難しいことがあった。しかし、今「ちょこっと」でも自分に対して「プラス」だと感じることもある。あの日のことを自分なりに消化できてきた。このことが本当に大きな成長だと思いました。

三日間という短い時間ではありましたが、しっかり職場体験をこなし、最後3人は自発的に校長室にも立ち寄って挨拶をしていきました。この先、輩達の成長が次の「ようこそ先輩」につながっていくように、こちらも「しっかり応援をし続けよう」と強く感じさせてくれた彼らの成長に拍手です!